

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	光明第七こども園
活動日時	2025. 6. 9
クラス名（年齢）	純組（0歳児）輝組（1歳児）心組（2歳児）愛組（3歳児）
年間テーマ	自然

1. 活動テーマ

《テーマ》

「木」の楽しさを感じよう！

《テーマの設定理由》

普段親しんでいる自然での活動がさらに深まったり、興味が持てることを期待して、木の質感や香り、音など木の楽しさを知る機会にしたいと考えた。乳児クラスでも楽しめる内容を用意した。

2. 活動スケジュール

主活動として0歳児～3歳児が時間差で参加する。

3. 探求活動の実践

《活動の内容》（活動のために準備した素材や道具、環境の設定）

積み木、木の音比べ、かんなくずプールを用意し、好きな場所を選んで楽しんでいく。

《活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り》

木の音比べでは、並べてある板材を繰り返して叩いて音の違いを楽しんでいた。

保育者：「どう？どの音が好き？」
Aさん：「これ、こんこんっていう！」
保育者：「そうだね！こんこんっていうね！」「私、この音好きよ」
Bさん：「Bはねこれがいい！」
保育者：「ね～いい音するね」

木で組んだ枠の中にかんなくずをたくさん入れると木のいい香りが広がった。

保育者：「嗅いでごらん。木のいい香りがするね～」
Cくん：かんなくずの香りを嗅いでみる。
「いいにおい」

かんなくずが簡単に裂けていく様子や柔らかな感触を味わっていた。



4. 振り返り

《振り返りにより得た保育者の気づき》

かんなくずプールの木の香りや簡単に手でさける質感に全身を使って喜んでいて、紙やプラスチックとは違い、手に馴染みやすいので玩具のひとつとして取り入れていきたいと感じた。同じ木に見えても切り方や厚みで音の違いがあり、木琴の玩具では比較している子どもの姿があった。森の中での新しい遊び方として提案してみたい。